

サッカーにおけるゴールゲッターの動きに関する研究  
～岡崎慎司選手に注目して～

中村 虎二郎 (競技スポーツ学科 スポーツ情報戦略コース)

指導教員 望月 聡

キーワード：動き出し、ポジション、ゴールゲッター

### 1. 緒言

サッカーは、22人のプレイヤーが1個のボールを使い、得点を競い合うスポーツである。人々の注目がボールを持つ選手に集まるのは当然のことだろう。しかし実際に、1人の選手がボールを持つ時間は、90分間で1～2分と言われている。それ以外の多くの時間は、ボールを持たないオフ・ザ・ボールのプレーになるわけである。コンパクトな現代サッカーでは、選手がボールを保持し、プレーできる時間やスペースがより制限されてきている。特に、勝敗に直接関わるゴールチャンスの場面では、ゴールを狙う選手に対して、プレーできる時間やスペースが制限されるだけでなく、パスを受けること自体が困難である。それでもゴールを決めることが役割であるゴールゲッターは、厳しいマークをかわし、ゴールを勝ち取らなければならない。

本研究では、日本を代表するゴールゲッター岡崎慎二選手に注目しゴールチャンスの場面で、オフ・ザ・ボールの重要性を再確認する。岡崎選手の動き出しを手本とした、有効なオフ・ザ・ボールの動きについて、調査し、今後の自分のプレーや、指導に生かすことを目的とする。

### 2. 研究方法

【調査対象者】岡崎選手の出場するイングランドプレミアリーグ、レスター・シティFC (2016-2017シーズン) 15試合を映像分析する。岡崎選手自身のゴールチャンスになったプレーを対象とする

【研究方法】それぞれのプレーの場面、岡崎選

手のポジション、周りの相手DF状況、ボールの出所、動き出しの種類、ボールを受けた後のプレーの6項目に注目し、文字化する。それを基に有効なゴールチャンス時のオフ・ザ・ボールの特徴を調べる。

### 3. 結果

前へのシンプルな動き出しで、ゴールへ直線的な動きをしている。逆の動きや、フェイクを減らすことで、無駄な失速を防ぎ、相手DFのマークを振り切るだけでなく、ボールを受けた後も、スピードに乗った有利な状態で、プレーすることができる。また直線的な動きは、空いたスペースに最短距離で移動する事ができる。

スペースを見つける判断スピードや、こぼれ球の予想が早い。味方がシュートを打つ前から、ボールがこぼれる位置を予想し、必ずゴール前につめている。

### 4. 結論

有効的なオフ・ザ・ボールの動きには、状況に応じた動き出しが重要であり、場面によって例外もあるが、多くに共通することとしては、ゴールに向かう直線的な動きが有効である。目の前に、スペースを空けるためのポジションをとることで、ゴールに向かう直線的な動きができる。ゴールゲッターは、ベストな位置と状態でボールを受けるため、空くスペースやプレーの流れを予測する。

### 引用・参考文献

サッカー動画速報

(2016) <http://soccer-douga.com/>

World soccer kanshenki